

表1 問題点の分析と対処法の一覧

2002.11. A小整備プラン
 作成者 教育情報化コーディネータ 正来 洋
 受理コード 300-10056W

	Windowsサーバ導入	新PC室のインフラ整備	MSスクールアグリーメント契約	新PC室のマルチパーパス化	職員研修 (教育の情報化)	職員研修 (情報教育推進)	既存PC室の利用形態の提案
1 「パソコンの使い方がわからない」		ノート10台 当面は職員兼用	ソフトウェア環境と統一によるOJT促進		研修講座 (利用教育)		
2 「パソコンを利用した授業に具体的なイメージがわからない」				調べ、まとめ、伝える授業形態への対応 交流学習対応	プロジェクト利用、外部教材リソース利用	元吉原小、暁小カリキュラム	
3 「自分の持っているパソコンとソフトが違う」	機種の違いを吸収できるサーバOS		ソフト統一によるMAC,WINの相違の吸収				
4 PC室が使われていない、鍵がかかっている利用イメージを!							休み時間の開放 児童PCリテラシーアップのためのドリルのソフト等導入
5 新PC室マルチな利用イメージ、図書館との連携を考慮		テレビ会議ソフトとハード無線LAN対応		隣室図書館との連携、役割分担 (書架、図書分類と移動) 移動机配置による柔軟な空間利用		同左	
6 次年度要求		職員用PCの導入 教育の情報化対応	ライセンス継続予算	消耗品費	情報教育アドバイザー獲得 リテラシーアップ講座	ITCeによる継続的な研修開催	